

## 安家川発電所事業性評価調査事業

### 1. 事業の目的

岩手県岩泉町にて水力発電計画の事業性を評価し、水力発電所計画に繋げる事を目的とする。

### 2. 事業の内容

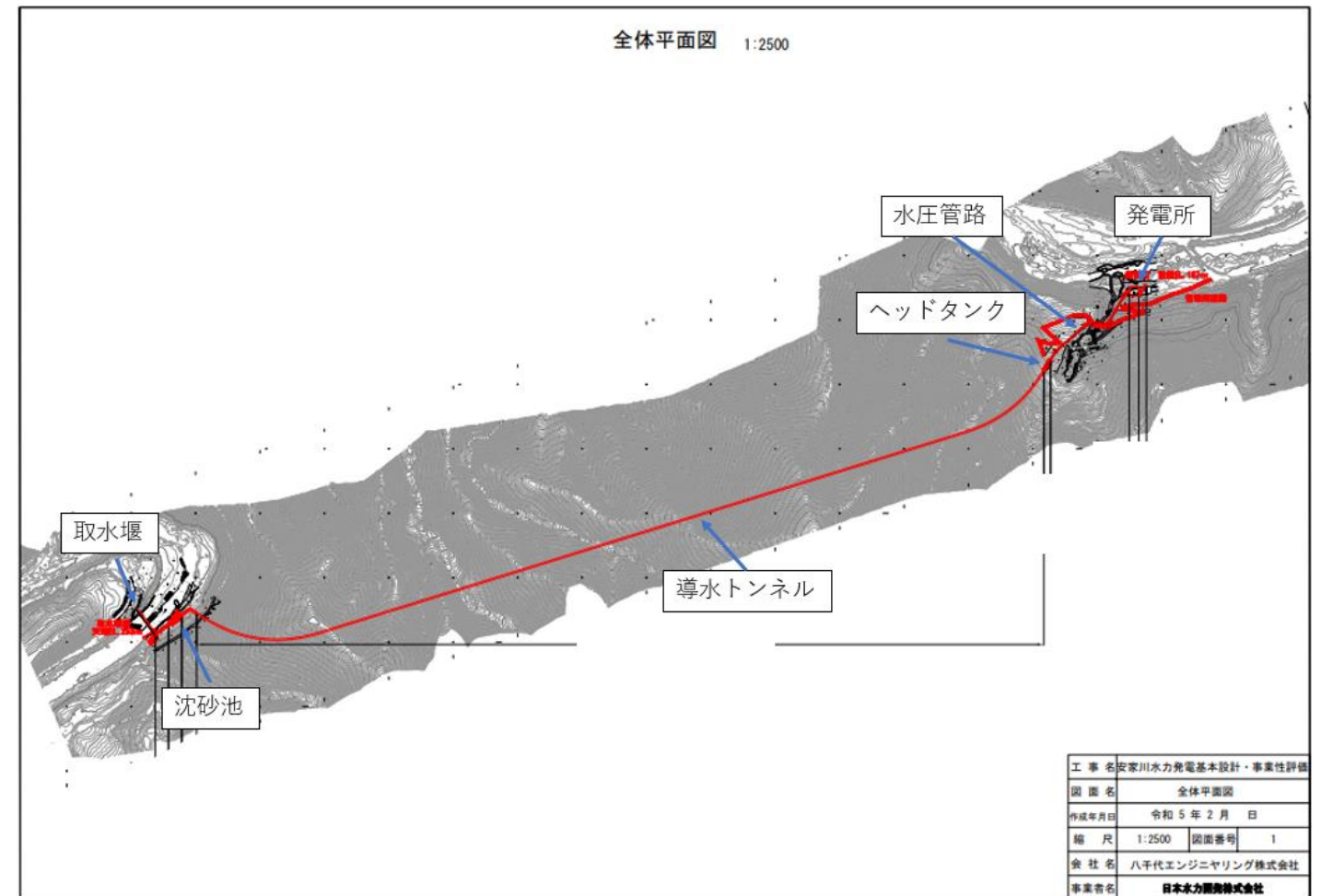
- (1) 事業者名  
日本水力開発株式会社
- (2) 補助事業の名称  
安家川発電所事業性評価調査事業
- (3) 事業期間  
令和4年5月20日 ~ 令和5年2月28日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
  - a. 発電形式 : 水路式
  - b. 使用水量 : 6.97 m<sup>3</sup>/s
  - c. 有効落差 : 40m
  - d. 出力 : 2193kW

### 3. 令和4年度の事業実施概要

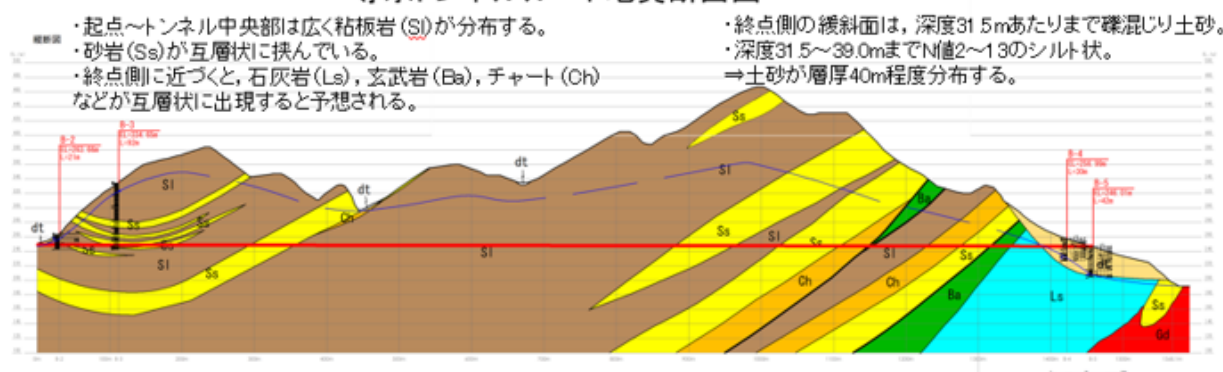
- ① 流量調査  
6か月間(令和4年5月から令和4年10月)の間、月2回、取水地点付近にて流量測定を行った。測定は直読式流速計による。
- ② 地形測量  
地形測量、横断測量を行い、基本設計に必要な現地地形データを入手した。
- ③ 地質調査  
取水計画地点及び発電所計画地点においてボーリングによる地質調査を実施した。目的は地耐力の把握である。
- ④ トンネル調査  
トンネルルート上の4地点においてボーリングによる地質調査を実施した。目的は地耐力の把握である。
- ⑤ 基本設計・事業性評価調査  
流量調査、地形測量、地質調査、トンネル調査の結果を踏まえ、本件の発電施設関連の基本設計を行うとともに事業性の試算を行った。事業性試算は基本設計に基づく建設費用の概算及び施設運転中の費用の概算を基に行った。

### 4. 事業の成果等

測量業務により、取水口付近の施設配置、導水路経路(導水路トンネル含む)、ヘッドタンク位置、水圧管路、発電所の配置の決定に必要な地形データが収集できた。  
地質調査及びトンネル調査により、取水地点付近、トンネルルート上、発電所付近の地耐力を知ることができた。  
本年度の流量調査により6か月の流況観測を行うことができた。昨年度と自主事業にて行った流況観測の結果と合わせて一年間の流況データを取得することができた。  
以上の結果から基本設計を行い事業性の検討を実施した。その結果事業化が見込める案件であることを知ることができた。本件業務の結果をもとに設計内容や採用工法の工夫を行い詳細な建設費用の算出を行う予定である。



導水トンネルルート地質断面図



### 5. 事業スケジュール

